

# 七月読み取りおけいこ（高）①

名前（

祇園祭の季節です。コロナ禍で今年も巡行はないですが・・・。

そもそも貞観年間（八五九〜八七七）に疫神えきじんをまつって神泉苑しんせんえんに当時の国の数、六十六本の矛ほこをたてたのがはじまりです。このころは大地震もあり、富士山が噴火ふんかし、飢饉ききんもおこり・・・とたいへんなことになっていたのでですね。

そこで人々はとりあえず梅雨の大雨が続くのを止ませてほしいと願いました。鴨川などがあふれるとぼつとん便所べんじょの中があふれ出て、井戸水とまざります。人間は水を飲まないと生きていけませんね。ミネラルウォーターなど売っているはずありません。当然お腹をこわします。そうになると伝染病も流行りますが、昔は病院もないのでそのままたくさん死者が出ます。何万人も亡くなるわけですから。もちろん洪水で流される人や、家を失う人もいたでしょうね。今のようになしつかりした堤防はありませんから。

昔の人は雨を降らせたり止ませたりするのは龍神りゅうじんさま（ドラゴンボールのシェンロンみたいなもの）だと思っていました。龍神様の好物が馬だとも思っていました。

そこで、古代、雨を止ませてほしいときには生きた馬をいけにえにして川に放り込んでいたのです。

そのなごりが祇園祭にも残っています。馬の板をぶら下げた「駒形稚児こまがたち」が久世の綾戸国中神社あやどくなかじんじやからやってきてこそ祇園祭がはじまるのです。この神社の氏子さんの多くは苗字が川勝さんといえます。秦河勝の子孫といわれる方々です。秦氏は治水技術にたけた氏族で、嵐山に大きな堰せきを設けたことでも知られています。それで渡月橋あたりのあの川を大堰川おおいがわというのです。（保津川と桂川の間）

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

（ ）（のはじまり

② 祇園祭にはじめまつられた神様は何という神ですか？

（ ）（

③ この時代日本国内にいくつの国がありましたか？

（ ）（

④ このころに噴火していた山は何ですか？

（ ）（

⑤ 飢饉で死ぬことを別の言い方で何と言いますか？

（ ）（ 焼死（ ） 飢死（ ） 交通事故死

⑥ 昔の人は雨をだれが降らせると思っていましたか？

（ ）（

⑦ ⑥の好物は何だと思われていましたか？

（ ）（

⑧ 貞観年間は何時代にあたるでしょう？

（ ）（ 平安時代（ ） 鎌倉時代（ ） 室町時代

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ）（ 祇園祭は駒形稚児が来ないとはじまらない。

（ ）（ 秦河勝は龍神様のことだ。

（ ）（ ドラゴンボールは祇園祭でまつられている。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

